

1 サイクル&ライドの目的

本市の交通課題

① 公共交通の負のスパイラル

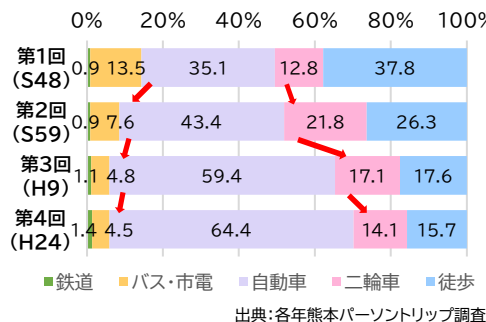
- ・自家用車利用の増加と公共交通利用者の減少
- ・公共交通の収益悪化
- ・公共交通のサービス水準の低下

② 慢性的な交通渋滞

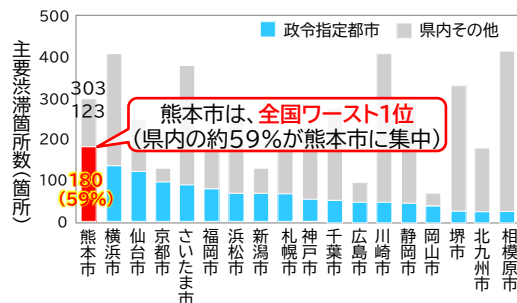
- ・自家用車への依存による交通渋滞の悪化
- ・TSMC進出に伴う交通需要への対応



▲産業道路渋滞状況(警察学校前)



▲交通手段分担率の変化



▲政令指定都市の渋滞箇所数
(3大都市圏にある東京都区部、大阪市、名古屋市を除いた政令指定都市で集計)

公共交通と自転車の組み合わせにより課題解消を目指す

公共交通

- ✓ バスレーンの導入、10分・20分構想の実現
- ✓ 市電延伸
- ✓ AIデマンドタクシーの導入
- ✓ MaaSの導入 等

自転車

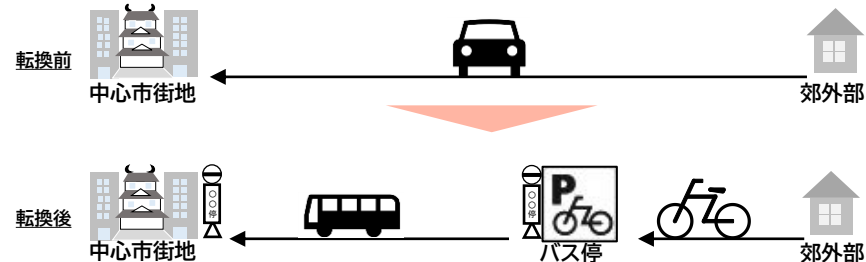
公共交通を補完するモビリティ

- ✓ サイクル&ライド
- ✓ シェアサイクル
- ✓ 自転車走行空間整備 等

サイクル&ライドとは

郊外や都心周辺部の鉄道駅、バス停周辺などに駐輪場を整備し、公共交通との結節性を向上させることで、自家用車から公共交通への転換を図る仕組み

(イメージ)



サイクル&ライドの推進に向けて

施策1 鉄軌道沿線の結節機能強化

- ・新水前寺駅駐輪場改修



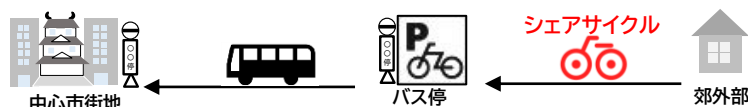
施策2 バスとの結節機能強化

- ・バス路線沿線の駐輪場整備



施策3 シェアサイクルの利用促進

- ・居住地へのポート設置と結節点ポートの強化



サイクル&ライドの推進について

2 施策1:鉄軌道沿線の結節機能強化 ～新水前寺駅駐輪場改修～

- 改修内容**
- ・ 収容率オーバーが常態化している新水前寺駅駐輪場を対象に、交通結節機能強化を検討
 - ・ 収容台数の確保及びスポーツサイクルや子乗せ自転車等の多様な車種への対応、屋根や照明等の設備改修を実施

収容台数の確保(スライド式ラックの設置)

- ・ 収容台数が不足し、通路への駐輪が常態化
 - ・ 現況の固定式ラック、平置きスペースの配置を整理し、スライド式ラックにより収容台数を確保
- 西+東 727台 ⇒ **1,017台**



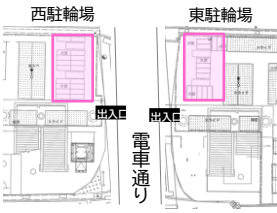
▲通路への駐輪状況



▲スライド式ラック

思いやりスペースの設置

- ・ ラックへの出し入れが難しいこどもや高齢者、自転車が重い子乗せ自転車を対象に平置きでの優先スペースを設置
- ・ 東西ともに、こどもの道路への飛び出しに配慮しスペースを配置



▲思いやりスペースの配置



▲思いやり駐輪スペース
(例:福岡市六本松駅駐輪場)

スポーツサイクル用ラックの設置

- ・ スタンドがなく通路へ駐輪するスポーツサイクルが存在
- ・ 東西にスポーツサイクル用のスペースを設け、縦置きラックを設置



▲スタンドのないスポーツサイクルの駐輪状況



▲スポーツサイクル用の縦置きラック

屋根の設置

- ・ 東西ともに、場所によっては雨に濡れる箇所が存在
- ・ 高架下外の駐輪スペースに屋根を設置



▲屋根がない駐輪スペース
(東駐輪場)



▲屋根の設置
(例:健軍駐輪場)

照明灯具更新、防犯カメラ増設

- ・ 夜間場内が暗く、防犯面に不安という声に対応
- ・ 照度を見直し、照明灯具を交換
- ・ 防犯カメラを増設



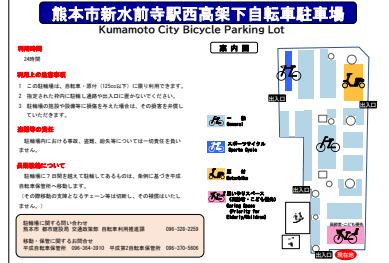
▲照明が届かないエリア



▲照明灯具の更新

案内サイン、路面標示の設置

- ・ スポーツサイクルや思いやりスペース等の駐輪ゾーンを案内する案内看板、路面標示を設置
- ・ 視覚的に分かりやすいピクトグラムを作成



▲案内サイン(案)



▲ピクトグラム(案)

スケジュール(予定)

	令和6年(2024年)											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
工事	契約手続き		工事準備		仮設工事	西工事		東工事			>>>>>>	

サイクル&ライドの推進について

3 施策2:バスとの結節機能強化 ～バス路線沿線の駐輪場整備～

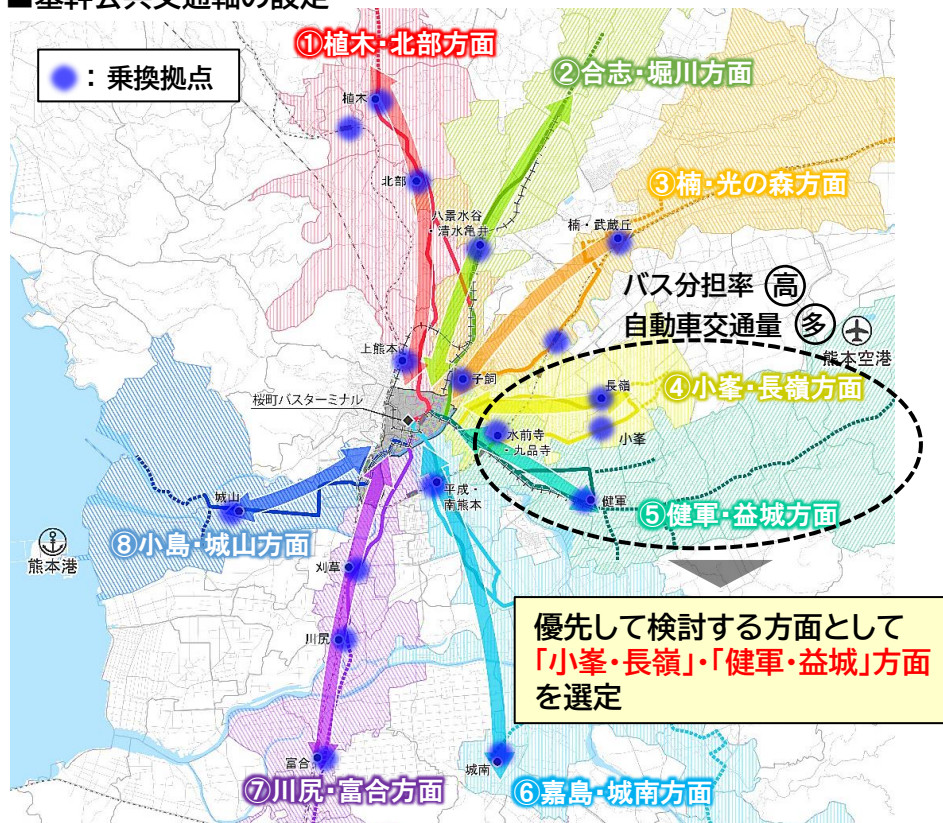
市営駐輪場の整備状況

- 市内に29箇所の市営駐輪場を整備
- 鉄軌道駅周辺は整備が進んでいるが、バス停周辺の駐輪場は不足

自家用車からバスへの乗り換えを促進する
サイクル&ライド駐輪場の整備を検討

「熊本地域公共交通計画」について ～基幹公共交通の機能強化～

■基幹公共交通軸の設定



今年度の検討状況

- 優先検討方面のうち「**小峯・長嶺方面**」を対象に、乗換拠点である小峯営業所周辺、長嶺地区周辺で候補地を検討
- 居住人口やバス便数、乗降客数等のデータに加え、バス停周辺での活用可能な公有地の有無を踏まえ、候補地を絞り込み
- 今後、人流データ(携帯電話のGPSデータ)等も活用しながら、候補地の評価や必要台数の算定を進め、来年度の詳細設計に反映する予定

※健軍・益城方面は、市電延伸の検討状況を踏まえ検討



▲小峯・長嶺方面のサイクル&ライド候補地



▲小峯営業所



▲長嶺小学校前



▲長嶺団地

サイクル&ライドの推進について

4 施策3:シェアサイクルの利用促進 ～居住地へのポート設置と結節点ポートの強化～

事業概要

<事業者> **neuete株式会社** ※令和6年(2024年)4月1日から「チャリチャリ(株)」に社名変更

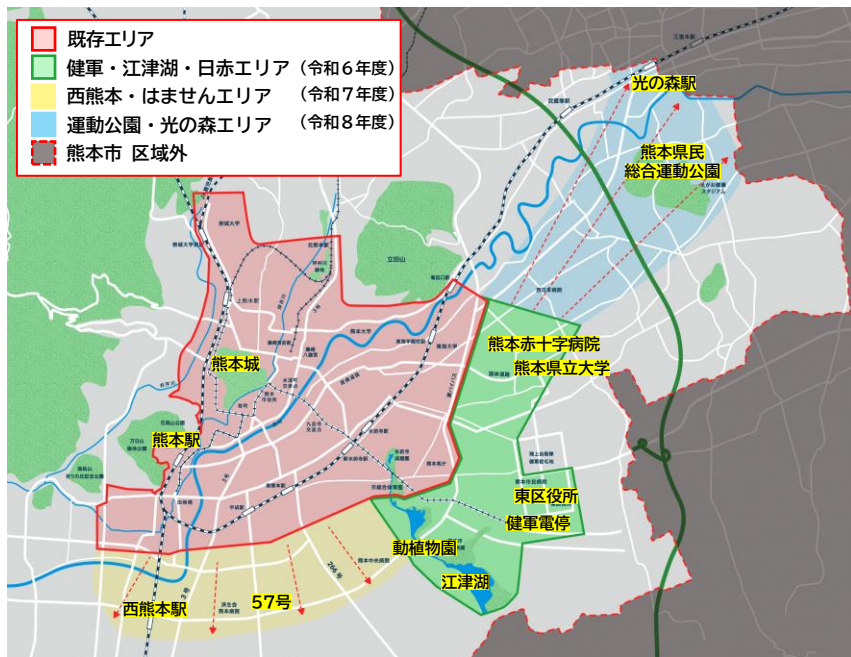
<事業期間> 令和6年(2024年)4月1日から令和9年(2027年)3月31日

<実施体制> 熊本市とシェアサイクル事業者による共同実施 ※役割分担は実証実験と同じ

令和6年度の予定

<利用エリア> ◎**健軍・江津湖・日赤エリアへ拡大**

⇒市電沿線をカバーすることで**公共交通の利用促進**を図ります！



<自転車台数・ポート> ◎**自転車の増車及びポートの拡充**

⇒自転車の増車及びポート密度を高め、**利用環境のさらなる充実**を図ります！

自転車台数 1,100台 **1,500台** (R6.3月) (R7.3月) ポート数 313か所 **333か所** (R6.3月) (R7.3月)

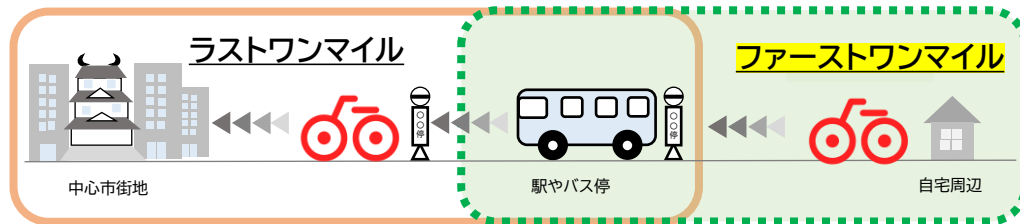
今後の方針

実証実験

中心市街地の回遊性向上

これから

サイクル&ライドの推進



自宅から駅やバス停への**ファーストワンマイルの移動手段**も充実

交通結節点の機能強化や居住エリアへのポート展開

▼ポート設置事例



<駅・電停>



<公園>



<マンション>

1 エリアの拡大

2 ポートの拡充

3 自転車の増車

交通結節点の機能強化

サイクル&ライドの推進としてシェアサイクルを活用！